

会 議 録

令和 8 年 9 月 17 日作成

会議名	第 2 回明科中学校学校運営協議会	
日時・場所	令和 8 年 9 月 1 1 日（金） 1 4 : 4 0 ~ 1 5 : 3 0 授業参観 1 5 : 5 0 ~ 1 6 : 4 0 会議（会議室）	
出席委員氏名	山崎芳實、青木泰治、横内理恵子、丸山篤子、山田竜平、関 和俊、寶 喜貴 下條拓也 （事務局）志水宏靖、奥原剛生	
欠席委員氏名	なし	
議 題		意 見 ・ 結 果
14 : 40 ~ 15 : 30 生徒の様子を参観 15 : 30 ~ 15 : 50 生徒会本部役員との懇談 15 : 50 ~ 16 : 40 本会議 ○開会 ○学校長あいさつ ○前期の学校運営の評価と後期の計画について ○意見交換		校時の授業を自由に見学していただく。 今の明科中学校について思うことを生徒と委員とが対話する。 1. 新しい学校づくりの方向性（学校改革案） 生徒主体の学校を目指し、多忙な学校生活の中にゆとりを生み出す改革を進めています。 2 学期制への移行検討：テストや成績への過度な意識を和らげ、学校生活を楽しむゆとりを作るため、現行の 3 学期制から 2 学期制への変更を検討しています。 「学びの時間」の拡充：金曜日の日課を工夫して時間を生み出し、教科にとらわれない選択講座や学年・地域と連携した活動を拡充する計画です。 体験行事の見直し：自然学習を 1 年時に統合し、2 年時には安全面や教員の引率リスク（高山病緊急搬送等）を踏まえ「平和学習」を新設する方向で検討しています。 2. 部活動の地域移行 男子バスケ部の休部や他校との合同チーム化が進む中、令和 8 年度末に休日の完全地域移行を行い、令和 10 年夏には平日部活動も終了して完全地域移行（学校部活の閉鎖）を行う予定です。 3. 総合的な学習・学びの時間・文化祭（明中祭） 総合的な学習の時間：全 10 グループに分かれ、地域での調査・訪問活動を実施しています。 学びの時間：12 月と 1 月に計 5 日間設定し、地域人材を講師に招いた講座活動を計画しています。 文化祭（明中祭）：地域住民や保護者の積極的な来校と生徒との交流を呼びかけています 生徒の姿に対する評価： 参加した生徒会役員がハキハキと自分の意見を述べる姿勢に感銘を受けたとの声が多く挙がった。 日常的なペア・グループ学習での対話経験が、人前で話す自信や主体性に繋がっていると共有され

た。
デジタル依存（スマホ・AI）と実体験の重要性：
スマホ依存への対策として、家庭内でのルール・
約束づくりの重要性が話し合われた。
ネットや AI の情報だけに頼るのではなく、リアリ
ティのある具体的な「人・もの・こと」に直接触
れる体験学習を重視すべきとの意見が出された。
生徒のエネルギーの発散と地域連携：
部活動が縮小する中で、中学生のエネルギーや内
面の葛藤をどこで受け止めるかが今後の課題とし
て共有された。温かく協力的な地域の受け皿や関
わりの重要性が再確認された。
行事・登山見直しへの理解：
天候や安全面、教員側の負担・リスクを踏まえた
行事整理の方向性に理解が示された

【備 考】次回予定

第3回学校運営協議会 2月16日（火）

- 14:30～：新生徒会役員（2年生）との意見交換会（希望者は授業参観も可能）
- 15:00～：協議会本会（1年間の振り返り、決算、次年度計画）